

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

今年の夏は、ほんとうに暑かった。道内では、18箇所で観測史上最高気温を記録したほか、札幌では、8月12日から4日連続で気温が33度以上となり、83年ぶりの暑さとなった。我が家には扇風機が辛うじて一台あるものの、エアコンなんてある訳もなく、窓という窓を全開しても無風状態で室温は30度近く!! 久々に暑さで眠れぬ夜を味わった。また、愛犬もこの暑さでダウンし、動物病院のお世話になりました。これは墓参りに車で連れ回したのが悪かった(反省)。それにしても今年の夏ほど、エアコンが恋しくなった夏はないですね。調べたところによると、札幌の家庭用エアコンの普及率は20%程度で、5軒に1軒の割合です。なお、98年までは10%未満だったのが、99年の猛暑で倍増(と言っても20%ですが)したようです。費用対効果を考えると悩ましいところですが……。また、9月16日から18日に北方海域技術研究会の視察会で静岡に行ってきましたが、連日、32~33度であり、残暑と言うより夏真っ直中でした。札幌も9月21日に最高気温31.1度を記録しました。これは1879年の気温観測開始以来、最も遅い真夏日で、86年ぶりの記録更新だそうです。

地球歴史の中では、寒波や猛暑もありましたが、最近では、集中豪雨や猛暑襲来の頻度が高いと思う。こうした異常気象は「地球温暖化」が原因なのでしょうね。短期間で気温が急激に上昇すると、人間や動植物に影響を与え、経済活動にも大きな影響がでます。地球温暖化は、目に見えないということから、私たち自身が危機的な状況にならないため、理解しにくいかもしれませんが、しかし、将来的には、もっと深刻な問題になっていることは確かです。人ごとではなく、将来のある子供のため、しっかりと理解し、一人独りが地球温暖化防止対策をする必要がありますね。

今回の編集後記は、暑さネタに終始しましたが、本号がお手元に届くころは夏の暑さが恋しくなっているかもしれません。